

庄川扇状地水環境保全連絡協議会設立趣意書

● 設立の目的

庄川流域並びに庄川扇状地では、古くより河川水や地下水の利用が盛んに行われてきた。

近年、社会活動の高度化、広域化に伴い水利用は多様化しており、今後、より安定的な供給・利用の体制を計画的に構築していくことが求められている。

このため、北陸地方整備局富山河川国道事務所では、庄川扇状地の水環境について調査検討し、適切な水環境を構築することを目的として、5名の学識者からなる「庄川扇状地水環境検討委員会」を設置し、平成13年度～15年度にかけて年間を通した庄川扇状地全体の地下水モニタリングを行い、地下水流動機構の解明と保全・適正利用に係る基本事項について調査、整理、検討を行った。

検討委員会から、地下水の保全・利用に係わる対策の実施にあたっては、関係機関による協議・調整の場を設け、重点かつ効果的な施策の実現を目指すべきとの提言を受けた。

今後、国、県、関係市町村が連携し、河川水、地下水の適正な管理により、健全な水循環を保持し、水環境の保全を推進することを目的として、「庄川扇状地水環境保全連絡協議会」を設置するものである。